

07: グランドビジョン懇談会の実施概要

設置目的

移転先が京都の玄関口に位置し京都市立芸術大学と同敷地であるという他に類のない恵まれた環境を最大限活かし、「文化芸術都市・京都」の更なる発展の一翼を担う新たな美術専門高校の創設を目指している。新校に新たな魅力や価値を創造し、Only One の美術専門高校としてのブランディングの再構築を図るため、有識者に参画いただき、新校の教育内容等を検討するために設置する。

構成員

令和4年4月時点

○委員（五十音順）

- ・赤松 玉女 氏 京都市立芸術大学 理事長・学長
- ・臼井 重雄 氏 パナソニック株式会社執行役員・デザイン本部長
- ・ウスビ サコ氏 京都精華大学 前学長 全学研究機構長
- ・出口 治明 氏 立命館アジア太平洋大学 学長

○本市関係者

- ・東良 雅人 氏 京都市総合教育センター 副所長
前文部科学省初等中等教育局 視学官
- ・山田 敦 氏 京都市立下京中学校 校長
- ・波多野 愛 氏 京都市立下京渉成小学校 校長

○オブザーバ

- ・文化庁地域文化創生本部事務局



開催実績・概要

第1回：令和3年2月5日（金）

○主な検討議題

- ・これからの社会の発展に果たす美術の機能・役割と可能性
- ・今後の芸術の担い手のあり様とその育成を目指す新たな美術専門高校の在り方
- ・新美工ならではの環境を活かした高大・地域・産学連携の在り方。京都芸大との連携、移転先の立地を生かした地域・産業との連携、Only One の美術専門高校としての取組、多様なあふれるグローバルな美術教育、レジリエントな学校づくり

○主な御意見の概要

- ・表現を豊かにするインプット（幅広い教養や日常的な観察、他の世界に出会う等）を重視した学びの充実
- ・美術専門高校としての学びの実践（教科の本質に迫った学び・ストーリーテリングの育成等）
- ・京都の資産（伝統産業の職人等）から学ぶ取組の充実
- ・美術を学んだ者のキャリアを学ぶ機会の創出
- ・年少の世代との接続（幼稚園、小・中学校との連携を通して、自身の感覚を崩す仕掛けの構築等）

第2回：令和3年11月8日（月）

○主な検討議題

- ・美工の全体構想（学校像、生徒像、資質能力、スクールメッセージ、スクールポリシー等）
- ・社会に開かれた教育課程の実現に向けた具体的な取組の検討の進捗状況
- ・BIKO の学びを ART でつなぐ「BIKO steAm」の検討の進捗状況

○主な御意見の概要

- ・生徒に積極的に挑戦させたり、失敗をさせて成長に繋がったりする機会の創出
- ・京都芸大が卒業生を招き実施するキャリア学習への新美工の参画
- ・新校舎内に高校生の作品鑑賞ができるスペースの設置
- ・高校生の作品を世に問う機会の創出
- ・思想や哲学等を通して、人間だからこそできる力の育成
- ・平均的な人材ではなく、強みが秀でている「尖った人材」の育成
- ・強弱をつけた教育活動の実践・推進

08: 学校概要



校舎内の地域のシンボル 銀杏の木

■校名
京都市立美術工芸高等学校 ※令和5年4月の移転に伴い変更します。

■移転予定地
〒600-8252 京都府京都市下京区川端町15番地

■課程／学科／専攻【継続】
全日制／美術工芸科／日本画, 洋画, 彫刻, 漆芸, 陶芸, 染織, デザイン, ファッションアート
※1年次に8専攻の基礎を学び、1年次末に1専攻を決定します。
2・3年次の2年間は、1専攻に所属し、より専門的な実習を行います。
※3年次には、国公立大学を中心とする大学進学を目指す「アートパイオニアコース」と多様な美術の科目を履修できる「アートフロンティアコース」のいずれかのコースを選択。

■定員【継続】
1学年90名（3学級）

■通学区域【継続】
京都市内全域。なお、志願者が在住する都道府県の公立高校に希望する専攻が設置されていない場合は、特別事情具申手続によって受検することができません。

■校歌
現在本校には、校歌はありませんが、移転を機に制定予定。

■制服【継続】
現在本校には、制服はありません。移転後においても、同様の取扱とします。

移転ロゴマークの作成



銅駝美工の移転を広く中学生・保護者・市民の皆様にご案内いただくことを目的に、ロゴマークを作成しました。ロゴマークには、校地・校名が変わり、新たなスタートを歩んでいくことに「わくわく」する想いを表しています。皆様にも、是非「わくわく」しながら、移転を迎えていただければ幸いです。